

今月の農作業

県病害虫防除所発表より 一部抜粋

● 水稲：育苗・田植え

苗いもちの発生量はやや多い予想で、害虫の発生時期はやや早まる予想です。箱処理剤等で予防しましょう。

苗立枯病はリゾープス菌の発生量が増加中なので注意深く観察してください。

これらの予防のためにもハウス内の温度管理を徹底し、乾燥・カビ・生育不良・ムレ苗等の対策に酸素供給剤を活用することもおすすすめです。

移植直後 同時の除草剤散布は薬害防止のため浅植えに注意しましょう。

● そとこい：播種・定植

早時きは避けます。各種病害虫が多い予想で、薬剤等での予防が必要です。

● 果樹

りんごは腐らん病となしの黒星病が今年も多い見込みです。早期の対応が必要なので、感染部位の排除と合わせ対象薬剤でしっかり防除を！

その他、ナミハダニやカメムシ類、モニア病も多くなる見込みです。開花直前から開花後の散布を適期に実施し、訪花昆虫にも留意しましょう。

農業倶楽部通信

平成三〇年 五月号

発行：農業倶楽部
よこて店
H30.4.28 vol.41

営業時間
平日：8時半～18時
土・祝：8時半～17時
定休日：日曜日

水稲除草剤の力を最大限発揮するために

『代掻きは丁寧にし、水漏れ対策もし、忙しく、慌ただしい中の春作業。どうしてもスピード重視になってしまいがち。でも丁寧な仕事は後で必ず生きてきます。ゴロゴロした土を無くし、田面を平らにならしてクロ塗りすれば、除草剤の処理層がきれいに長く維持され、雑草の発生を長く防ぐ事が出来ます。』

『初期Ⅱホットコンピフロアブル』

一つの成分で長くしっかり雑草を抑制！散布量300 mlでもオーケー（※1,880）

↓初期ⅡマキシMX 1キ粒剤

ソルネットにメソトリオンを配合し、水の動きと抑制効果を強化！（※1,545）



『適期を逃さず散布後も水深3cmをキープ！』

除草剤を散布してから溶け出して、田面に処理層を築くまで数日かかりますが、その間も雑草はお構いなしに顔を出してきます。そうなるとどんな良い除草剤も枯らすのに苦労するため早めの散布が重要です。また散布前にはたつぷり入水し、1週間は止め水をして処理層を動かさないことも除草剤をしつかり効かせるポイントです！

散布後、水深が浅くなり太陽光が田面に照射されたり空気に触れることで除草剤の効果はどんどん弱まり、雑草が繁茂します（写真参考）。水深を3cm以上保てれば、一番良いのですが、差し水をすればはゆっくり時間をかけ、できるだけ田面の水の動きを少なくしましょう。

↓初期Ⅱクラール剤

効果がプラス（※1,050）

『藻類の発生を防ぐ』

上手に除草剤が散布できても、カナや表層剥離が発生すると水温が下がり、除草効果が発揮できない事も。有機物が多く、わきやすい圃場等は予防や対策をお願いします。

↓初期ⅡアクシスMXとアピロラウMX剤

天然由来成分「MX（メソトリオン）」は、いったん処理層が出来ると田面の水の動きに強く、特にアクシスはノビエ4葉期まで使用可能！オーバーフローや差し水でも流出しにくく抵抗性雑草にも効果あり☆

アクシスMXとアピロラウMX剤

天然由来成分「MX（メソトリオン）」は、いったん処理層が出来ると田面の水の動きに強く、特にアクシスはノビエ4葉期まで使用可能！オーバーフローや差し水でも流出しにくく抵抗性雑草にも効果あり☆

☀️ 気になる今月のお天気 ☀️

4/28～5/27

天気は数日の周期で変わるでしょう。週別の気温は、1週目は高い確率70%、2週目は高い確率50%、3～4週目は平年並または高い確率が40%です。

項目	1週目	2週目	3～4週目
気温	70	50	40
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

■(平年)以下 ■並 ■高い (%)

昨年のような低温が続くことはないと思われませんが、田植えは出来るだけ気温の高い日を狙い、活着が遅れないようにしましょう。

10kg入り箱処理剤

商品入れ替えの為に価格応相談！



◎ 編集者のつぶやき...

雪解けが遅く、田畑の水はけが十分でないところもあると思いますが、肥料散布や田起こし、畦畔の手入れ等、仕事がまだまだ山積みですね。今春は強風が吹く予想もありました。今後は本田での管理が始まるので気を付けて作業してください。